

女子美染織コレクション展 Part6 ×  
渡辺家コレクション

# TEXTILE DESIGN 時代をうつす布

2016.6.11 sat → 7.24 sun

開館：10:00～17:00 (入館は16:30まで) 火曜日休館 入館料：無料  
主催：女子美術大学美術館 後援：相模原市、相模原市教育委員会 協力：女子美術大学研究所 助成：公益財団法人朝日新聞文化財団

女子美アートミュージアム

〒252-8538 神奈川県相模原市南区麻溝台1900 女子美術大学 相模原キャンパス

Tel: 042-778-6801 Fax: 042-778-6815

E-mail: museum@venus.joshibi.jp

URL: <http://www.joshibi.net/museum/>

女子美アートミュージアム

JAM  
JOSHIBI ART MUSEUM





およそ200年続く老舗「駒形どぜう」に代々受け継がれた渡辺家コレクションは、江戸時代末期から明治、大正、昭和と激動の時代をくりぬけてきた染織コレクションです。この時代は日本が近代化を推し進めた時代でもあり、日本人の衣服生活も大きく変容しました。一概に明治時代から洋装化が始まったと考えられていますが、大多数の女性が洋服を着用し始めたのは昭和時代に入ってから、しかも第二次世界大戦以降です。しかし和服のデザインには西洋のモチーフや当時の流行が取り入れられており、アール・ヌーボーやジャポニスムなどの影響が反映されています。このようにテキスタイルデザインの分野において、洋装化は確かに明治時代後半から始まっていました。

また、衣服はその時代背景をも映し出します。大正時代のモダンな雰囲気や昭和時代に入ってから戦争の足音など、その時代に合ったデザインも登場しました。洋装化の推進を果たした和服や時代を反映したテキスタイルデザインに注目し、女子美染織コレクション、渡辺家コレクションから「時代をうつす布」を展示いたします。



カトリア花鳥模様振袖 20世紀



濃緑地トランプ模様名古屋帯 20世紀



黒紗合せ雀芭蕉模様道中着 20世紀



四季草花鶏籠模様打掛 19世紀

## 関連イベント

◎ワークショップ1・2は申し込み必要。E-mail・Fax・お電話のいずれかの方法でお申し込みください。定員になり次第、締切りといたします。(都合により内容・時間などが変更になる場合がございます。)

1.イベント名 2.氏名 3.電話番号 4.参加人数 5.ワークショップ1のみ希望の時間帯

### ギャラリートーク (申し込み不要)

日 程：6月18日(土) 14時～14時30分 講師 本学名誉教授 岡田宣世

### ワークショップ1 「渡辺家コレクションの着物を着て素敵なポートレイトを撮ろう！」

日 程：7月2日(土) ①13時～14時 ②14時～15時 ③15時～16時

ポートレイトフォトグラファー 神宮智咲

着付け 西原窈子

定 員：9名(各3名)

参加費：1,000円

着物は、大人用、子供用(3才～6才くらいまで)がございます。

### ワークショップ2 「古縮緬の装丁でつくる美しいノートブック」

日 程：7月10日(日) 13時～16時 講師 美篤堂

定 員：20名(中学生以上)

材料費：1,500円

A5サイズ、48ページのオリジナルノートブック(白紙)を制作します。



女子美アートミュージアム 〒252-8538 神奈川県相模原市南区麻溝台1900 女子美術大学 相模原キャンパス Tel : 042-778-6801 Fax : 042-778-6815  
E-mail : museum@venus.joshibi.jp URL : <http://www.joshibi.net/museum/>

### 交通案内

- 1.小田急線相模大野駅北口3番バス乗り場「女子美術大学」行き乗車約20分 ※平日・土曜日午前10時前は伊勢丹デパート横グリーンホール前4番バス乗り場乗車
  2. JR横浜線古淵駅2番バス乗り場「女子美術大学」行き乗車約15分
- ◎車でご来場の方は隣接する市立相模原麻溝公園内の各駐車場をご利用ください。